

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1100	(H.24)No.	1100
-----------	------	-----------	------

事務事業名	市民農園運営・整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	農林資源室	西森平太郎	63-7625
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1	良好な地域環境づくり
	施策	2	自然環境
	小施策	1	自然環境の保全
重点施策コード	2-5.名張ブランドづくりの推進(地産地消・自産自消の推進)		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	303001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農林水産業費	市民農園運営・整備事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	市民農園運営・整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
田畑の適切な保全・管理による荒廃化の防止及び農業者不足に伴う定年就農者の確保のため、市民農園の施設、周辺の管理及び土地の借上げ等市民農園の管理・運営を行う。	

めざす効果(事業目的)
遊休農地活用により非農家である市民に農業・自然にふれあう安らぎの場を提供するとともに、行政・地元住民(農業者)とのネットワークづくりを推進する。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	農園周辺管理委託料 250千円	農園周辺管理委託料 250千円	補助金・交付金	その他 ()	
	農園賃借料 234千円 手数料 38千円 報償費 3千円	農園賃借料 280千円 手数料 40千円 報償費 3千円	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
			農園周辺管理委託料 250千円 農園賃借料 235千円 手数料 40千円 報償費 3千円	農園周辺管理委託料 250千円 農園賃借料 235千円 手数料 40千円 報償費 3千円	農園周辺管理委託料 250千円 農園賃借料 235千円 手数料 40千円 報償費 3千円
直接事業費	525千円	553千円	553千円	553千円	553千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他(雑入等)	525	553	553	553	553
一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数					
職員	0.05人	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 382千円	1,696千円	1,696千円	1,696千円	1,696千円
+ 総事業費	(0千円) 907千円	2,249千円	2,249千円	2,249千円	2,249千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	市民農園の設置数[延べ値]	箇所	-	-	-	-
	実績			5	5	5	5
成果指標	目標	市民農園の利用が、地域住民との交流のきっかけになったと答えた人の割合	%	-	-	-	20.0
	実績			18.0	15.8	-	-
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
未利用区画や利用できない区画が発生している	利用できない区画は、障害となっている原因を取り除く方法を早急に検討する。また、未利用区画は、2区画目の利活用を利用者に呼びかける。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
市民農園制度の充実により、農地を所有していない方にも農業が身近なものとなりつつある。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的を明確にすること ・地域づくり組織に経営をゆだねる方向も検討されたい ・目標指標は、事業目的に合致したものに改めること

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	地域委託
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	共用部分通路・駐車場等の管理料や水の使用料の徴収
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	南古山地区は「美旗」に掲げられている。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	市民農園の整備として
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	耕作放棄地の紹介による規模拡大への転換と新たな利用者の掘り起こし

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項
貸付できない区画の原因排除方法の検討